

**ヨコハマトリエンナーレ 2011 経済波及効果等の推計結果の修正について**

株式会社浜銀総合研究所（以下、「当社」といいます）が、2011 年度に横浜トリエンナーレ組織委員会様より受託いたしました「ヨコハマトリエンナーレ 2011 経済波及効果等測定業務」に基づき納品した「ヨコハマトリエンナーレ 2011 経済波及効果・パブリシティ効果推計結果報告レポート」（以下、「2011 レポート」といいます）に誤りがあることが判明したため、今般、発注者である横浜トリエンナーレ組織委員会様に報告いたしました。

横浜トリエンナーレ組織委員会様、並びに多くの関係者の皆さまに、多大なるご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

**1. 修正内容**

	修正前	修正後	差額
経済波及効果	4,353 百万円	3,184 百万円	▲1,169 百万円
雇用発生数	422 人	303 人	▲119 人
パブリシティ効果	4,558 百万円	4,668 百万円	+110 百万円

- ・経済波及効果の誤りは、来場者アンケートの結果から需要発生額を計算する際に、来場者の消費活動による消費額を一部取り違えて計算したことなどによるものです。
- ・雇用発生数は、経済波及効果の額を基礎として計算するため、経済波及効果の額の減少に連動し、修正するものです。
- ・パブリシティ効果の誤りは、テレビ・ラジオ放映時間および新聞掲載件数などを過小集計したことによるものです。

なお、「2011 レポート」を除く、2011～2014 年度にかけて横浜市様並びに関連団体様より受託し、納品したその他の報告書について、点検・精査を実施したところ、問題はありませんでした。

**2. 判明の経緯**

今年度、当社が、横浜トリエンナーレ組織委員会様より受託しております「ヨコハマトリエンナーレ 2014 経済波及効果等測定業務」の中で、「2011 レポート」の推計結果との比較検討を行った際に判明しました。

**3. 事案の原因**

担当研究員のセルフチェックの不徹底による推計の作業ミスがありました。また、社内の相互牽制が働かなかったこと、社内ルールに定める最終点検が不十分であったことから、そのミスを発見できませんでした。

**4. 再発防止策**

全研究員に対し、再発防止策として、以下の点を徹底いたします。

**(1) 研究員のセルフチェックの徹底**

研究員のノウハウ向上に努めるとともに、発注者に対し、案件の進捗過程における詳細な説明を実践することで、研究員が自らの作業過程を確認し、ミスを未然に防止するよう努めます。

**(2) 複数担当制の導入による相互牽制と管理役職者による管理体制の強化**

受託案件に対して、複数の研究員が関わる体制とすることで相互牽制を働かせます。また、管理役職者は、発注者のニーズや案件特性に応じて、研究員の経験、専門性を踏まえた業務分担を徹底します。

**(3) 部門責任者による最終点検の徹底**

所属長（部門責任者）は、報告書の厳正な最終点検を徹底し、厳格な管理体制を構築します。

当社では、今般の事態を厳粛に受け止め、二度とこのようなことのないよう、組織体制・管理体制の整備、教育体制の強化に全力で取り組みます。そして、研究の質および成果物の品質向上に努め、地域のご期待に応え、地域の発展に貢献してまいります。

以上